

PLASTIC | さめたはこ

この度、LOOP HOLE では、グループ展【PLASTIC | さめたはこ】を開催いたします。展覧会シリーズ「さめた○○」は、昨年の【さめた体温 松田修 x 山瀬まゆみ】を契機として企画されたものです。本展は、松田、山瀬に対し、次回展の参加アーティストの推薦を依頼し、その推薦基準を「この時代に生き観察しつつも流されない、確立した作家性を持つ者」としました。そうして、松田、山瀬、大久保ありの三者間でのディスカッションを経て、今回の COBRA、森田浩彰、ヌケメの三アーティストによるグループ展となりました。

COBRA は、海外コメディを彷彿とさせる舞台セットの中、自身の身体を媒介とする過剰な扮装、チープな映像合成によって制作されるビデオ作品が特徴のアーティストです。今回出品した作品は、既製品の中に OL に扮したアーティスト自身が封じ込められた《Romantic Spring》シリーズと既製のパーティーグッズを象った《Nail Art》。鑑賞者の笑いを誘ったと同時にステレオタイプイメージの過度な流通に冷静な視線を向ける作品です。アーティスト自身の持つコメディ性の強度がバカバカしさと不気味さの同居を成立させ、そこはかたない戦慄がゆっくりと滲み出るような作品構成です。

森田浩彰は、生活の中に確実に存在しつつも、意識されない事物に注意を向け、そうした事象が折り重なる文脈や関係性を可視化させる作品を制作してきました。今作品は、「コンバース・オールスター」を履く人物を模写したドローイングと実物の「オールスター」と「偽オールスター」を混在させたモビールから構成されています。既製品を起点としたイメージの流布が同一のもの、類似のもの、あるいは偽ものに回帰し、また流布を繰り返すグローバリゼーションの視覚化を森田の不完全なカタログが文字通りの宙吊りの状態で表しています。

ファッションデザイナーとしても活躍をしているヌケメは、ミシン刺繍のコードに無限に拡がる仮想空間での遊戯的作法__グリッチを誘引させ、規律を解体しながら新たな美学を構築する試みを制作の特徴とします。今作では、壁、あるいは台座に差し込まれたネジとそれを回すドライバー《ASAP》四点から構成され、作品のフィジカルな側面により言及しています。本作においては、力学的な緊張状態と道具としての用途やその先の目的が見失われぬのにも関わらず達成されないままに置き去りされた瞬間が留められ、ある種の違和感が作品自体の存在感をいっそう際立たせています。

本展覧会の三アーティストと初めて会談した時に「ショップ」というキーワードが一度現れ、すぐに消えました。しかしながら、展示空間を見回すとそのことが「消費」や「流行」といった目には見え難い現象として漂っているようにもうかがえます。わたしたちの暮らす世界の現実、そしてその流動性をどう捉えるのか。「さめたはこ」は冷静に現代の世界を計る器を手にするアーティストのためのタイトルです。

文責：大久保あり

PLASTIC | さめたはこ COBRA x 森田浩彰 x ヌケメ

2017.04.22 - 05.21

LOOP HOLE

協力：AOYAMA | MEGURO、XYZ Collective

LOOP HOLE 183-0022 東京都府中市宮西町 1-15-13 <http://studioloophole.com>